

会議録（案）

会議の名称	男女平等推進センター企画運営委員会 令和2年度第8回（R2.6.7～R4.6.6）
開催日時	令和3年2月19日（金曜日） 午後6時30分から午後7時50分まで
開催場所	ゆめこらぼより配信
出席者	委員：青木委員、稲葉委員、坪内委員、吉田委員 事務局：福田係長、藤野主査
議題	1 情報誌パリテ26号最終確認データについて 2 企画事業について 3 令和2年度第7回企画運営委員会会議録（案）の承認 4 その他（次回開催日程ほか）
会議資料の名称	1 情報誌26号最終確認データ 2 2020年度男女平等推進センター企画講座 提案（2月16日更新） 3 令和2年度 男女平等推進センター企画運営委員会事業年間計画書（2月16日更新） 4 令和2年度第7回会議録（案）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>○会議内容</p> <p>《開会》これより令和2年度第8回企画運営委員会を開催する。</p> <p>事務局：欠席の連絡が3名より入っている。情報誌の印刷スケジュールを考え、委員会を開催し、過半数の参加を得られない際は、追加の書面による開催を実施したい。</p> <p>委員：了承する。</p> <p>事務局：委員長が欠席のため、副委員長に司会をお願いしたい。</p> <p>副委員長：了承する。</p> <p>1 情報誌パリテ26号について</p> <p>事務局：情報誌26号の最終確認を決するために、ドゥ・アーバン様にも参加いただく。</p> <p>委員：了承する。</p> <p>事務局：画面にデータを共有するので、表紙から確認して欲しい。</p> <p>委員：了承する。</p> <p>事務局：表紙について、ご意見をどうぞ。</p> <p>委員：この内容で了承する。</p> <p>事務局：2・3ページについて、3ページの上、下段の黄色マーカー箇所を修正している。ご意見をどうぞ。</p> <p>委員：上段の文章と下段の年表で、年に差異があり、違和感を感じる。</p> <p>事務局：廃止が決まったのが2015年、下段は、オリンピック年表のため、開催年2016年となる。</p>	

副委員長：上段は性別確認検査、年表は女性性別確認検査となっている。
事務局：「女性性別確認検査は2015年に廃止を決定しましたが」に修正する。
委員：年表の1968年 メキシコシティの下のイラストだと分かりにくい。
「男子陸上200mの表彰台で黒人選手2名が人種差別への抗議で直ちに追放」に修正する。
委員：この内容で了承する。
事務局：4・5ページについて、ご意見をどうぞ。
委員：この内容で了承する。
事務局：6・7ページについて、ご意見をどうぞ。
プライドハウス東京にも校正を依頼し、了承を得た。
委員：この内容で了承する。
事務局：8ページについて、ご意見をどうぞ。
委員：この内容で了承する。

2 企画事業について

副委員長：企画事業について事務局より説明を。
事務局：6番について、タイトルが「木山裕策さんオンライン講演会&生ライブ」で決定し、市報2月15日号に掲載してHPと合わせて広報する。時間が18時から20時と少し早くなったが、皆様もぜひ参加して欲しい。
7番8番については、実施していく方向で、担当委員と進めていく。
6月23日から29日は内閣府が定めた、「男女共同参画週間」となる。令和2度は、新型コロナウイルス感染症のため、パネル展示のみ実施した。令和3年度は、オリンピック開催もあり、男女平等について考える機会にして欲しいと考えている。若い世代の方に、男女平等について考えるきっかけとなるような講演会を実施したい。
副委員長：週間事業について、新しい委員の方にも分かるように説明を。
事務局：令和元年度は、「ディズニーアニメのヒロインから考える現代の女性像～メディアの女性の描き方を考える～」講演会を実施した。
男女共同参画週間の前後に講演会を実施するためには、講演会内容を3月中には概ね決めて、講師に依頼をしていく必要がある。
皆様のご意向を教えてください。
副委員長：講師の見込みなどに関わらず、皆様のご意見をお聞きする。
委員：北欧は男女平等が進んでいる。特にフィンランドでは、34歳女性首相が誕生した。男性の育児休暇の取得率も高い。北欧に学ぶ、日本が目指す男女平等参画社会のような内容の講演会を希望したい。
委員：希望が持てる男女平等先進国の話しを聴けるのはよいと思う。目標が見えてくる。
委員：貧困とDVの問題はコロナ禍の中で更に大きな問題となっている。女性の立場が低い。経済的に自立できていない母は、子どもを守ることが難しく虐待に繋がってしまう恐れがある。今起こっている状況を、伝えていきたい。
副委員長：コロナ禍による夫のリモートワークにより、昼間、自宅にいないことができない母と子の問題も出ている。
皆様のご意見は大きく分けて、希望を伝える内容と現実を伝える内容の2つだと思う。参画週間までのスケジュールを考えて、本日どちらの内容で実施するか決めておいた方がいい。
事務局：6月の男女共同参画週間は、ジェンダーギャップ指数121位やオリンピッ

クに向けて、男女平等について話題となっているので、男女平等に特化した内容を実施したいと考えていたんで、北欧の男女平等について社会に学ぶような内容を基に考えてみたい。

可能であれば、現実を伝える内容については、11月のDV週間で実施したい。

副委員長：DV週間であれば、DV等の実績報告も出てくると思う。6月は希望を伝える内容とする。次回委員会から企画していくと遅くなるため、講師等に関しては、事務局が主体で探す。

事務局：欠席委員のご意見を、メール等で集約する。その他講座、講師のご提案などがあれば、併せてメール等で教えて欲しい。

委員：了承する。

3 令和2年度第7回企画運営委員会会議録（案）の承認

副委員長：修正箇所はあるか。

なし

令和2年度第7回企画運営委員会会議録を承認する。

4 その他(次回開催日程等)

副委員長：その他について事務協より。

事務局：3点ある。

① 緊急事態宣言の解除が予想される。委員会の開催方法についてのご意向を教えてください。

委員：どちらでも良い。2人。

参加者が多い方法が良い。1人。

コロナが収束したわけではないので、オンラインが良い。1人。

事務局：オンライン開催で調整する。

② 利用者懇談会の開催について

2年度は緊急事態宣言中により未開催であったが、例年、4月に開催している。3年度の4月に開催するか、一般向けにアンケートを取るかなど実施方法等を決めたい。

過去は、協働コミュニティ課担当と企画運営委員会委員がホストとなる。市報にて参加募集を行い、パリティに関心があればだれでも参加可能である。

副委員長：過去に参加した。企画運営委員が3、4名と他の団体から8名くらい出席していた。他の団体の生の声が聞いて参考になった。アンケートだけでは、知ることは出来ないと思う。

土曜日にオンラインで開催したら、参加者が見込めるだろう。

委員：オンライン開催だと、普段は参加できない人も参加可能となるだろう。

委員：令和元年度は、3、4人くらいの参加だった。

オンラインだけで実施すると、オンラインで環境がないなどで参加出来ない団体もあると思う。コロナが落ち着いたころに対面開催がいいと思う。

事務局：アンケート方式ではなく、懇談会方式で行う。実施の日時含む詳細は、関係者に聞き取りを行い再度お伝えする。

委員：了承する。

③ 辞任に伴うご挨拶。

事務局：企画運営委員会委員の転居に伴う退任のご意向を2件受けている。大変

残念ですが、「西東京市男女平等推進センター企画運営委員会設置要綱第3」の定めとあわなくなってしまう、3月31日を持ってご退任となる。本日参加いただいている委員に、ご挨拶をお願いしたい。

委員：退任に向けた挨拶。

事務局：今年度は、新型コロナウイルス感染症のため前半の講座は中止としたが、皆様のおかげで講演会等を6回実施できた。改めて、お礼を申し上げます。

次回、委員会は令和3年4月中に実施したい。スケジュール等は、メールで意向をお聞きして決めていきたい。

委員：了承する。

副委員長：では、本日は終了とする。ありがとうございました。

《閉会》